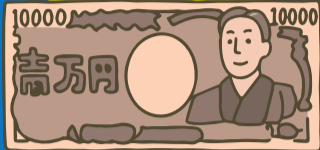


ちょっと
お金の
勉強を!

16歳からの仕事とお金のこと

将来の進路に備えて、「お金」についての知識を身につけることはとても大切です。
「これからの人生で、どれだけお金が必要なの?」「仕事をする、と、どれくらいお金が入ってくるの?」
このコーナーで、仕事や学び、暮らしを支える、お金のことを考えるきっかけになれば幸いです。

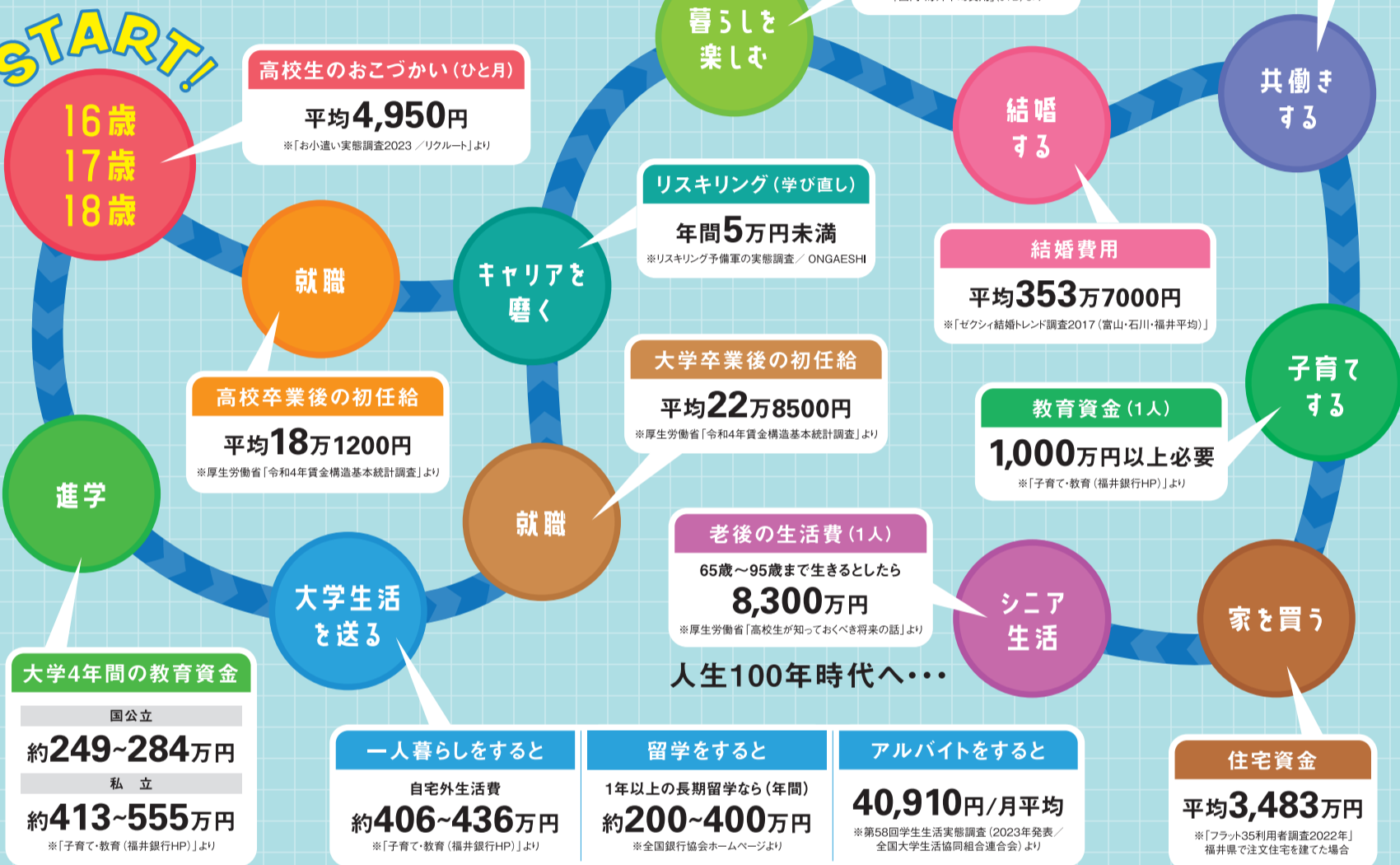
取材協力: 福井銀行 経営企画グループ 人財開発チーム



高校生のためのライフプランイメージマップ

まずは、今後の人生で起こるイベントと、そのイベントにまつわるお金の収入と支出をイメージしてみましょう。

START!

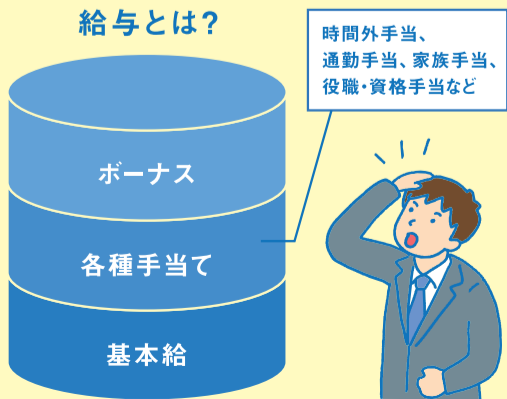


Q1 給与って、どのくらいもらえるの?

給与は、基本給と各種手当に分かれます。基本給は年齢や勤続年数、社員の頑張りなど、企業ごとに決め方はさまざまです。また給料はその額面すべてが手に入るわけではありません。給料から、支払う義務がある保険料や年金、さらに税金などが差し引かれ、額面のおよそ75~85%が手取りとなります。

ちなみに、一人の労働者が生涯にわたって得る賃金の総額「生涯賃金」は、1億5,000万円から2億5,000万円*とされています。

*「ユースフル労働統計2023 -労働統計加工指標集- (独立行政法人労働政策研究・研修機構)」より



Q2 これから、どれだけお金がかかるの?

入学、就職、結婚など、人生の出来事を「ライフイベント」と呼び、その計画を立てることを「ライフプラン」といいます。「結婚する・しない」「子どもを生む・生まない」など、一人ひとりごとにライフイベントは異なります。

一般的には、「教育費用」「住宅費用」「老後費用」が、人生の3大支出といわれています。まずは、「ライフプランイメージマップ」で、自分の未来にかかる費用を算出してみましょう。

自分の教育費用	円
1人暮らし費用	円
キャリア磨き費用	円
生活費用 <small>・自動車、旅行費なども含む ・老後前までの期間</small>	円
結婚費用	円
子どもの教育費用	円
住宅費用	円
老後費用	円
合計	円

自分の未来に必要なお金

Q3 お金をためたり増やしたりするにはどうする?

経済的に安定した暮らしを続けるためには、毎月入ってくるお金「収入」と、出ていくお金「支出」を把握する家計管理が大切です。買い物などで「本当に必要な支出なのか」も検討してみましょう。

おすすめが、「先取り貯蓄」です。おこづかいや給料を使い切る前に、一定金額を貯蓄することを指します。「お金を色分けする」のも、分かりやすいアイデア。「近い将来使う」「日常生活で使う」「使う予定がない」お金に色分けし、使わないお金の中から、少額で始められる「つみたて投資信託」などの投資などを検討します。現在は低金利で物価は上昇する一方。預金だけでなくお金を「育てる」方法も求められています。

